

「世界に誇ろう!須走の景観と富士山」 巡拝の道づくりと景観向上活動



須走まちづくり推進協議会

<https://subashiri-fujisan.com>



平成25年の富士山の世界文化遺産の登録をきっかけに、須走地域の住民が一体となって、魅力ある住みよいまちの実現に向けて取り組むことを目的に、同年、自治会を中心に、事業者、ボランティア団体等により設立されました。

「富士山に抱かれ、恵みを大切に豊かなふれあいが人を輝かせるまち」を理想像に「す・ば・ら・し・き 須走」の実現に向けて取り組みをおこなっています。

設立当初から、国土交通省沼津河川国道事務所による国道138号須走地区景観形成ワークショップ会議に参加し、特に須走口登山道入口周辺の景観向上活動を実施してきました。活動を通じて、関係する道路管理者(国、県、町、NEXCO中日本)との協働体制を確立し、令和4年度からは道路協力団体として、景観向上活動を毎年春・秋に実施しています。

作業内容は、道路沿道の除草及び植え込みの除草手入れ、ガードレール等の景観配慮色への塗装を実施しています。協議会構成団体のほかボランティア100人~500人の参加者により、未就学児からシルバー世代まで幅広い年代による活動を継続しています。



登山道ガードレール塗装 富士山を背景に

平成28年からは、富士山世界文化遺産構成資産である「富士浅間神社」「須走口登山道」及び地域内の文化財や地域文化を活性化につなげる取り組み、「須走富士山巡拝の道づくり」事業を開始。地域を語るローカルガイド「すばらしり隊」の育成、パンフレット、ガイドマップの作成、インターネットによる富士山と須走地域の歴史や富士山信仰などについて情報発信を開始しました。

令和5年、富士山世界文化遺産登録10周年を迎えました。構成資産のあるまちとして、「世界に誇ろう!須走の景観と富士山」を合言葉に活動します。



巡拝の道事業 富士山小富士開山ウォーク御来光



国道138号及び登山道入口周辺修景事業 記念写真